

# CILとちぎ通信

第11号 平成24年9月30日発行



とちぎしょう ・栃木障がいフォーラムの かつどう 活動について	2	せいど たにま こ ・制度の谷間を超えて シンポジウム	8
・ピア・カウンセリング講演会 <small>こうえんかい</small>	3	うつのみやはなびたいかい ・宇都宮花火大会	9
・CILとちぎのバーベキュー	4	きたかんとう こうりゅうかい ・北関東CIL交流会	10
・2度目の国際福祉機器展 <small>こくさいふくしききてん</small>	5	さいきょう ・最強のふたり	11
・スポーツを楽しむ <small>たの</small>	6	しょうがいしゃぎゃくだいぼうしほう ・障害者虐待防止法 うつのみやし いりようひじょせいせいど 宇都宮市の医療費助成制度	12

とくていひ えいりかつどうほうじん じりつせいかつ  
特定非営利活動法人 自立生活センターとちぎ

とちぎけんうつのみやししもぐりまち  
〒321-0923 栃木県宇都宮市下栗町2947-8 イースタンピュア 103

でんわ  
電話・FAX：028-638-2538 E-mail：ciltochigi@silver.plala.or.jp

URL：http://www11.plala.or.jp/ciltochigi/index.htm

# とちぎしょう かつどう 栃木 障がいフォーラム(TDF)の活動について

さいとうやす お  
齋藤康雄

へいせい ねん がついつちち ふくし とちぎしょう  
平成24年8月1日とちぎ福祉プラザで栃木 障がいフォーラム(TDF)  
そうかい かいさい かつどうほうこく かつどうけいかくなど ほうこく しょうがいしゃさべつ  
総会が開催されました。活動報告と活動計画等が報告され、「障害者差別  
きんしほう しょうれい しょうせい すずき し むきょくちょう ほうこく  
禁止法および条例づくりの情勢」を鈴木事務局 長から報告されました。

その総会にて決定した「障害を理由とした差別と思われる事例調査」が  
がっつ はじ はびろ しょうがいしゃ さべつじれいなど ちょうさけっか きょうゆう  
10月から始まり、幅広い障害者への差別事例等の調査結果を共有し、  
しょうがい しゃかいせいかつ もんだい そうごりかい しょうがいかんけいだんたい  
障害による社会生活での問題への相互理解をすすめ、障害関係団体の  
れんけい きょうか ちょうさ どう けんしゅうかい  
連携を強化する。この調査がまとまりましたら、シンポジウム等の研修会  
おこな とうじしゃ かぞく かんけいしゃ  
を行うとともに、当事者、家族、関係者がみんなで作りあげること  
いしき たか とちぎけん しょうれいせいてい せっきょくてき かつどう むす  
意識を高め、栃木県の条例制定への積極的な活動に結びつけていきたい  
かんが  
と考えています。

ちいきしゃかい す ひと  
地域社会は、そこに住む人たちでつくるものです。たとえば、福祉制度が  
ととの ちいき ちいき しょうがいとうじしゃ かぞく かんけいしゃ つく あ  
整っている地域は、その地域の障害当事者、家族、関係者が作り上げて

いったものです。今後の障害者差別も  
おな ちいき  
同じで、その地域をどうするか、どう  
しゃかい  
いう社会をつくっていくかは、そこに  
す じゅうみん き  
住む住民が決めていくものです。

しょうれい うんどう しょうがい  
条例づくりの運動は、まさに障害  
とうじしゃ かぞく かんけいしゃ せっきょくてき かく  
当事者、家族、関係者が積極的に各  
しょうがい ちが の こ たが しょうがい  
障害の違いを乗り越え、互いの障害  
りかい きょうりょく うんどう  
を理解し協力しあえる運動です。

さべつ う とうじしゃ さんかく  
差別を受けている当事者が参画し、  
とうじしゃ こえ そんちょう よ しょうれい  
当事者の声を尊重してより良い条例  
をみなさんの力で作り上げていきま  
しょう。条例は、障害者だけでは、

つく けんみん りかい ひつよう  
作れません。県民の理解が必要です。そのためには、条例を理解してい  
かつどう おち  
ただけるような活動をしていかないと。思います。

じりつせいかつ さべつじれい きにゅうようし けいさい  
自立生活センターとちぎのHPに差別事例の記入用紙が掲載されていま  
すので、ご協力いただけたらと思います。

<http://www11.plala.or.jp/ci/itochigi/>



# ピア・カウンセリング講演会

ながたげんじ  
永田元司



少し前のことですが、6月にとちぎ健康の森でピア・カウンセリング講演会を開催しました。県内でいろいろな行事の重なる中、ピア・カウンセリングの講座を受けたことのある方から、全く初めての人まで、30名弱の人の参加がありました。

講師には、神戸の自立生活センターリングリングから中尾悦子さんをお招きしたのですが、中尾さんは、全国自立生活センター協議会の常任委員であり、ピア・カウンセリング委員会の委員長も務める方で、ピア・カウ



ンセリングの魅力伝えていただくには最適の人です。講演会では、中尾さんのこれまでの生活や、ピア・カウンセリングがどのようなものか、どう役立ってきたかということなどをわかりやすく話してくれました。

また、簡単にピア・カウンセリングの体験を行い、グループでの話し合いの後、質疑応答となりました。相手が話しやすくするにはどうしたらいいのか、知的障害のある人同士でも行えるのかといったいろいろな質問に中尾さんは丁寧に答えてくれました。

参加者は、身体障害、精神障害のある方、障害のあるお子さんのいる方、たまたま興味を持った一般の方などさまざまな方がいましたが、みなピア・カウンセリングへの理解を深めてくれたと思います。



# C I Lのバーベキュー大会

はこいしみつこ  
箱石 充子

まいとしこうれい たいかい がつ にち おこな ことし  
毎年恒例のバーベキュー大会が9月23日に行われましたが、今年もい  
つものように、バーベキューの会場を広い所に借りていたのですが、当日  
は、すごい大雨にみまわれてしまいました。前日と後の日は、からりと晴れ



ていいお天気でした。肉や野菜をたく  
さん買い込んでしまったので事務所で  
開催しました。参加者のみなさんもい  
つもは50人ぐらい来ていただけるは  
ずでしたが、そんな訳で半数ちかい方  
が来られませんでした。でも外からの  
方が30人参加して下さいました。内、

そとあ  
外合わせて35、6人です。

せまいかいじょうに、グーグーづめの  
じょうたい たくじょう だい  
状態で卓上コンロ2台とホットプレ  
ート2台を真ん中に置いてワイワイガ  
ヤガヤとにぎやかでした。おなかがい  
っぱいになったところで初めて参加の  
かた おお じ こしょうかい  
方が多かったので自己紹介をしながら、  
ビンゴゲームを楽しみました。ビン  
ゴゲームのルールは一枚の紙にビン



ゴの数だけ四角を書きます。その中に名前を書き入れてきます。グーグ  
ューづめの所で、あっちに行ったりこっちに行ったり、体をぶつけあ



たり、顔をくっつけあったりと本当にお  
ちか かんけい て き  
近づきの関係が出来たようです。(笑)ま  
た、さらにみなさんと仲良くなったよう  
でうれしいかぎりでした。大雨の中を来  
てくださった参加者のみなさんに本当  
に感謝しています。

## 2度目の国際福祉機器展

ちだまさみ  
千田真巳

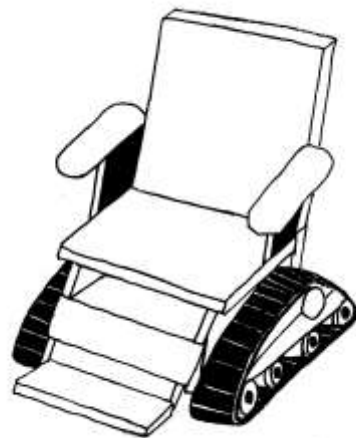
きょねん こくさいふくしききてん しごと はじ じぶん おこな  
去年の国際福祉機器展では、仕事を始めたばかりだったので、自分が行  
かいじょうほうほう べんきょう りようしゃ せいかつ つか  
う介助方法については勉強してはいましたが、利用者さんが生活で使うよ  
うな日常生活品や車椅子などの福祉用具については勉強したり考えた  
りしたことがあまりありませんでした。そこで今年はただ眺めるだけでな  
く、いろいろかんが けんがく  
色々考えながら見学しました。

じぶん こんかい ふくしききてん とく いんしやう のこ てんじ  
自分が今回の福祉機器展で特に印象に残っているのは展示されていた  
くるまいす ちい  
車椅子です。1つは小さいタイヤ（ローラー?）をいくつも組み合わせた  
タイヤを装着したことで全方位への移動が可能になった電動車椅子です。  
そのままの体勢で横に動きたいとき、ほうこうへんかん  
方向変換せずにそのままスライドし  
て動いてくれるので便利です、しやうがいぶつ しま  
斜めにも動けるので障害物なども今まで  
よりもからだ ふか  
体にも負担がかからずスムーズに方向変換できそうに見えました。

もう1つはキャタピラの付いた車椅子です。しょうじき おち  
正直すごい!とは思いましたが、の ひと ゆ かいりやう よち かん  
乗っている人がものすごく揺れていたのが改良の余地ありという感  
じでした。この2つの車椅子は機能  
としては素晴らしいとは思いますが、  
おお すこ すこ  
大きくて少しごついのでもう少しス  
マートになれば良いのかなと思  
いました。

ぜんたい きつ  
全体をまわって気付いたことは、  
こうれいしゃかい もんだい ちゆうもく  
高齢社会の問題が注目されている  
こともあってかこうれいしゃ たいしやう  
高齢者を対象にした展示が多い感じがしました。  
てんじ おお かん  
高齢者の方が人数も多いのでニーズ  
もあるとは思いますが展示物はバ  
ランスよくあるべきではないのかなと思  
いました。またほとんどの人が知  
っているような食品メーカーが出展していることにも驚きました。

きょねん ちが いろいろ おち  
去年と違ってもっと色々なブースをまわりたいとは思ったのですが、  
かいじやう ひろ じかんない ぜんぶ  
会場が広いので時間内に全部のブースをしっかりと見ることができなかつ  
たので次回行くときはもっとゆっくり見てみたいと思  
いました。





# ☆スポーツを楽しむ☆

おおやまのりこ  
大山智子

今年は4年に一度のオリンピックがロンドンで開催されました。世界最速の人・ウサイン・ボルトは走行直後のパフォーマンスを含め、格好良かった。そしてウーマンパワーの「なでしこジャパン」、優勝が決まり父親を肩車したのが印象的だった吉田沙保里選手の「女子レスリング」などの観戦で忙しく、寝不足の夏でした。

オリンピック後にはパラリンピックが開催され、栃木県からは、シングルフットボールに金田典子さん、車椅子バスケットボールに増渕倫巳さん、車椅子テニスに眞田卓さんが出場されました。みなさんはTVで見ましたか？放送があったのは知ってましたか？



パラリンピックはオリンピックとは違って、なかなかリアルタイムで放送されず、放送されてもダイジェストで短いため、競技そのものを見て応援しながら楽しむことは、あまりできません。オリンピックで感じた感動と同じように、車椅子バスケットボールを見ながら、応援しつつハラハラ・ドキドキを感じたかった！インターネットでの観戦もつながらず、Twitterで結果を知ってからダイジェストを見るのは、スポーツ観戦好きとしてチョット物足りないですね・・・この辺のメディア事情、次回の

ブラジル開催までに何とかして欲しいのですが！

ところでスポーツといっても、記録や勝敗を競うものと、身心のリハビリで楽しむのを主としたスポーツがあります。私はもっぱら、スポーツ観戦を楽しむのが好きです（笑）

今年もJBLのシーズン到来！リンク栃木ブレックスを応援しに行かねば！みなさんも、昨季の得点王・アシスト王の川村卓也選手をはじめコート駆けめぐる大男達を、観に行きましょう!!

車椅子席は付添1名無料で、¥2000～あります。チケット購入はコンビニやチケットぴあで。詳



しくはリンク栃木ブレックス <http://www.linktochigibrex.com> のチケット  
インフォメーションをご覧くださいませ！

そしてそして、海なし県の“サーフィンをやってみたい！という車椅子  
に乗っているひと”に、お知らせです。『NPO法人 フルサークル ジャパ  
ン』＝障害者がアウトドアスポーツを楽しむお手伝いをしている団体の  
理事である友人とブログを簡単に紹介します。

中村恵太さんは頸髄損傷で、同じリハビリ訓練施設の国立伊東重度  
障害者センターで知りあいました。受傷前からサーファーだった彼は、  
自宅にて社会復帰後、車椅子サーファーの先駆者・先輩・仲間の支援を受け、  
大好きな海に戻りました。その様子などはYouTubeにもUPされていま  
す。興味のある方は、恵太の『ENJOY THE 車いす LIFE』  
<http://ameblo.jp/gooday-keita/> にて♪

10月に入ったというのに、この暑さ寒さで秋はあるのかしら？もしかして  
秋をとおり越して、寒々しい冬がやってきてしまうのではないかと感じる  
きょうこの頃です。今年は防寒対策にダウンレグウォーマーなるもの  
を準備しました！車椅子で脚が動かない人にとっての脚を暖かく保つもの  
の探しは、永遠のテーマですよ（笑）

## 共生社会地域フォーラム

障害のある人もない人も共に生きる社会の実現を目指して  
－「障害を理由とする差別の禁止に関する法制」に向けた取組について－

障害を理由とする差別の禁止に関する法制の制定等に向けて、障害者政策委員会差別禁止部会でまとめられた意見に基づき、幅広い国民の意見を聞き、当該法制の制定に活かすことを目的としています。

主催者挨拶 東俊裕（障害者制度改革担当室室長）

基調講演 伊東弘泰（特定非営利活動法人日本アビリティーズ協会会長、差別禁止部会副会長）

指定発言 栃木県内の障害関係団体代表ほか

日時 平成24年11月3日（土） 13:00～16:00（受付開始 12:30）

会場 とちぎ健康の森 とちぎ生きがいがづくりセンター 「講堂」

主催 内閣府

申込み 共生社会地域フォーラムのホームページから申し込んでください。

<http://www8.cao.go.jp/shougai/forum/area/gaiyo.html>

# せいで たにま こ 制度の谷間を超えてシンポジウム

さいとうやす お  
齋藤康雄

せいで たにま こ とうじしゃ なんびょうせいさく かんが  
制度の谷間を超えて～当事者のための難病政策を考えるシンポジウム  
～が 10月4日に参議院会館で行われた。

「タニマーによる、制度の谷間をなくす会」実行委員会は、「難病当事者による難病当事者のための勉強会」と題して、慢性疾患を抱えた当事者が集まり、専門家の方々を交えて勉強会を続け、その中から、慢性疾患を抱えていくうえでの困難さを広く知ってもらうために、シンポジウムを開催しました。



しょうがいしゃじりつしえんほう かいせい しょうがいしゃそうごうしえんほう へいせい ねん  
障害者自立支援法の改正である「障害者総合支援法」は、平成25年4月  
から難病を含めスタートしますが、制度の谷間が解消されず、一部の  
難病患者を追加したに過ぎない。難病の範囲は、今後政省令で決められて  
いくことになるが、難病政策の対象に指定する現行の130疾患を  
中心とする考えだ。

ちりょうほう かくりつ びょうき なんびょうとうじしゃ  
治療法が確立されていない病気は5000～7000もあり、難病当事者  
は「病名にかかわらず制度の対象に」と希望すが、現状では障害者手帳  
が無い為に、障害者自立支援法の申請の窓口にも立てずに、毎日が大変な  
日々を過ごしていると苦悩を訴えた。

シンポジウムでは、オブザーバーとして、茨木尚子さん(明治学院大学  
社会学部社会福祉学科教授)が務め、大野更紗さん(作家・難病当事者)、  
白井誠一郎さん(社会福祉士・難病当事者)、青木志帆さん(弁護士・難病当  
事者)、篠原三恵子さん(NPO法人筋痛性脳脊髄炎の会理事長・難病当事者)  
が障害当事者として障害について、谷間の障害について今後の方向性な  
どについて述べられた。

今後は、社会モデルの視点から、病気や身体機能の障害を抱えながら「暮  
らすことの困難さ」に着目して、障害者や病名の違いにかかわらず支援  
を必要とする人が、その支援を申請できるようにすることが求められると  
述べられたいきました。



# うつのみやはなびたいかい 宇都宮花火大会

はこいしみつこ  
箱石充子

今年は「100年続けよう誠意と真心の宇都宮花火大会」という実行委員会が作られ8月11日開催ということでした。場所を実行委員会として車椅子の人の為に確保する為のチケットなど準備をしてくれて、いい場所に障害者は安心・安全に見れるということですので楽しく楽しみにしていました。

さて当日仲間と車で打ち上げ現場へウキウキワクワクしながら出かけました。ところが車に乗るあたりから空模様が怪しくなってきました。カーラジオをかけて、しばらく走っていましたが猛烈な雷と雨で車の窓から前がハッキリ見えない状態になってきて結局その日は中止という結果になりました。

帰ってきて介助者さん2人仲間2人の4人で残念会をしました。それはそれで楽しく滅多にない事だったので良かったと思います。雨のせいだけではなくお酒のせいでもあり心が洗われた夜でした。

明るく日は、花火打ち上げにはもってこいの天候で、風もなくもちろん雨も降らず空も星が出て、打ち上げ前からすごい人が混雑していましたが実行委員会の方々のご協力のおかげで一番前の、しかも仮設トイレがすぐ前にある所へ行くことができ、何も心配することなく席につく事ができました。

宇都宮はJAZZとカクテルの街としてJAZZとカクテルを売り物に街を盛り上げよう、そんな謳い文句がありますけど花火にもJAZZと一体化してなかなか面白かったです。花火の数はうっかりして忘れてしまいましたが、ものすごい数の花火だったことを覚えています。仕掛けの花火もこれまで遠くで見られなかったので今年は全く初めての体験でした。3歳～5、6歳までの子供達の花火大会の絵を展示して、それをもとにした花火も上げていて色々工夫が凝らされていました。



# きたかんとう こうりゅうかい 北関東C I L 交流会

ながたげんじ  
永田元司

じりつせいかつ ぜんこくかくち きんけん かた こうりゅう  
自立生活センターは全国各地にあります、近隣のC I Lの方との交流  
はそれほど多くなかったりします。よそのセンターの代表の方はよく知っ  
ているけど、他のスタッフの方などは見かけたときに挨拶をするけど名前  
はなんていったっけ?というようなこともあります。

さくねん きたかんとうじどうしゃどう かいつう きたかんとう けん ゆ き  
昨年、北関東自動車道が開通して北関東3県の行き来がしやすくなった  
こともあり、北関東のC I L同士の交流を活発化させようということで、  
きたかんとう こうりゅうかい おこな だい かいめ ぐんまけんまえばしし  
北関東C I L交流会を行うこととし、第1回目を群馬県前橋市にあるピ  
アラインさんが定期的に開催している「みどりのカフェ」に参加という形  
で北関東のC I L 5 団体が集まりました。

いばらきけん じりつせいかつ  
茨城県からは自立生活センターいろはとつくば  
じりつせいかつ とちぎけん  
自立生活センターほにやら、栃木県からはC I  
L とちぎ、ぐんまけん じょうしゅう  
群馬県からは上州 project と  
しょうがいしゅじりつせいかつ  
障害者自立生活センターピアラインです。

こうりゅうかい あらた かくだんたい しょうかい さんかしゃ  
交流会では改めて各団体の紹介と参加者  
ひとりひとり じ こしょうかい ほか だんたい しつもん  
一人一人の自己紹介、そして他の団体への質問

などがあ、り、なご たの す つぎ こうりゅうかい おこな き  
などがあ、り、和やかに楽しく過ごせました。次の交流会を行うことも決ま  
りましたし、こんごこうりゅう かっぱつ しんぼく きょうどう がくしゅうかい  
今後交流が活発になり、親睦だけでなく、共同して学習会  
を行ったり、おこな ちいき はたら きかけ どう きょうりよく おも  
を行ったり、地域への働きかけ等も協力していけたらと思います。



みどりのカフェの  
おいしいコーヒーとデザート



## 最強のふたり (INTOUCHABLES/UNTOUCHABLE) 2011 仏

ページに余裕ができたので、夏に見た映画の話<sup>はなし</sup>を・・・ 永田元司<sup>ながたげんじ</sup>  
 私<sup>わたし</sup>と同じ頸髄損傷<sup>けいずいそんしょう</sup>となった富豪<sup>ふごう</sup>と介助者<sup>かいじょしゃ</sup>の感動<sup>かんとく</sup>できる話<sup>はなし</sup>だとい  
 うので見<sup>い</sup>に行<sup>い</sup>って見た。富豪<sup>ふごう</sup>の介助者<sup>かいじょしゃ</sup>は誰も長<sup>なが</sup>続<sup>つづ</sup>きしないのだが、そうい  
 う介助者<sup>かいじょしゃ</sup>は困<sup>こま</sup>るよなと思う典型的<sup>おと</sup>な数<sup>すう</sup>パターン<sup>てんてい</sup>が介助者<sup>かいじょしゃ</sup>募集<sup>ぼし</sup>時の面接<sup>めんせつ</sup>のシー  
 ン<sup>み</sup>に見<sup>み</sup>られて面白<sup>おもしろ</sup>かった。そこに介助者<sup>かいじょしゃ</sup>になる気<sup>き</sup>もない黒人<sup>こくじん</sup>青年<sup>せいねん</sup>が現<sup>あら</sup>れて  
 採用<sup>さいよう</sup>され、次第<sup>しだい</sup>に友<sup>ゆう</sup>情<sup>じょう</sup>を育<sup>はぐ</sup>んでいくという話<sup>はなし</sup>なのだが、感動<sup>かんとく</sup>大作<sup>だいさく</sup>ではな  
 くコメディ<sup>しんこく</sup>タッチ<sup>たの</sup>なので、深刻<sup>しんこく</sup>にならずに楽<sup>たの</sup>しく見<sup>み</sup>られる。私<sup>わたし</sup>は主人<sup>しゅじん</sup>公<sup>こう</sup>と  
 体<sup>からだ</sup>の状<sup>じょう</sup>態<sup>たい</sup>が似<sup>に</sup>ているので、それ<sup>それ</sup>はよく分<sup>わ</sup>かるとか、そのシー<sup>シー</sup>ンはちょ  
 と笑<sup>わら</sup>えないとい<sup>い</sup>うところ<sup>ところ</sup>がいくつ<sup>つ</sup>もあ<sup>あ</sup>った。福<sup>ふく</sup>祉<sup>し</sup>の世<sup>せ</sup>界<sup>かい</sup>にい<sup>い</sup>る人<sup>ひと</sup>もい<sup>い</sup>ない  
 人<sup>ひと</sup>も、何<sup>なに</sup>か感<sup>かん</sup>じること<sup>こと</sup>のある映<sup>えい</sup>画<sup>が</sup>だと思<sup>お</sup>うので、機<sup>き</sup>会<sup>かい</sup>があ<sup>あ</sup>つたら見<sup>み</sup>てみ<sup>み</sup>  
 てほ<sup>ほ</sup>しい。

最<sup>も</sup>も感<sup>かん</sup>情<sup>じょう</sup>移<sup>い</sup>入<sup>にゅう</sup>ができたのは主人<sup>しゅじん</sup>公<sup>こう</sup>が文<sup>ぶん</sup>通<sup>つう</sup>相<sup>あ</sup>手<sup>て</sup>に写<sup>しゃ</sup>真<sup>しん</sup>を送<sup>おく</sup>るシー<sup>シー</sup>ン。  
 主人<sup>しゅじん</sup>公<sup>こう</sup>は芸<sup>げい</sup>術<sup>じゆつ</sup>を理<sup>り</sup>解<sup>かい</sup>し知<sup>ち</sup>性<sup>せい</sup>もあ<sup>あ</sup>る、金<sup>かね</sup>もい<sup>い</sup>くらでも自<sup>じ</sup>由<sup>ゆう</sup>に使<sup>つか</sup>える。自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>  
 を飾<sup>かざ</sup>ろうと思<sup>お</sup>えばい<sup>い</sup>くらでも飾<sup>かざ</sup>れるのだが、現<sup>げん</sup>実<sup>じつ</sup>に動<sup>うご</sup>かない身<sup>からだ</sup>体<sup>たい</sup>はどうし  
 ょうもない。自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の現<sup>げん</sup>状<sup>じょう</sup>を受<sup>う</sup>け入<sup>い</sup>れ、躊<sup>ちゅう</sup>躇<sup>ちよ</sup>なく姿<sup>すがた</sup>をさら<sup>さら</sup>せるよ<sup>よ</sup>うにな<sup>な</sup>  
 るは時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>のい<sup>い</sup>ること<sup>こと</sup>だし、ま<sup>ま</sup>して自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>の内<sup>ない</sup>面<sup>めん</sup>もさら<sup>さら</sup>け出<sup>だ</sup>して人<sup>ひと</sup>と付<sup>つき</sup>き合<sup>あ</sup>うの  
 は結<sup>けっ</sup>構<sup>こう</sup>難<sup>むずか</sup>しいこと<sup>こと</sup>である。

主人<sup>しゅじん</sup>公<sup>こう</sup>は身<sup>からだ</sup>体<sup>たい</sup>が動<sup>うご</sup>かなくな<sup>な</sup>ったこと<sup>こと</sup>によ<sup>よ</sup>って、や<sup>や</sup>や偏<sup>へん</sup>屈<sup>くつ</sup>にな<sup>な</sup>ったり、人<sup>ひと</sup>  
 嫌<sup>きら</sup>いにな<sup>な</sup>ったよ<sup>よ</sup>うにも見<sup>み</sup>えるが、人<sup>じん</sup>生<sup>せい</sup>に悲<sup>ひ</sup>観<sup>かん</sup>して全<sup>すべ</sup>てに後<sup>うし</sup>ろ向<sup>む</sup>きにな<sup>な</sup>って  
 いるよ<sup>よ</sup>うには見<sup>み</sup>えないところ<sup>ところ</sup>は好<sup>こう</sup>感<sup>かん</sup>が持<sup>も</sup>てる。実<sup>じつ</sup>話<sup>わ</sup>が元<sup>もと</sup>にな<sup>な</sup>っているそ  
 うだが、モ<sup>モ</sup>デル<sup>と</sup>の人<sup>ひと</sup>もそ<sup>そ</sup>うだ<sup>だ</sup>つたから映<sup>えい</sup>画<sup>が</sup>化<sup>か</sup>されたの<sup>の</sup>かな。映<sup>えい</sup>画<sup>が</sup>を見<sup>み</sup>なが<sup>ら</sup>  
 俺<sup>おれ</sup>も金<sup>かね</sup>があ<sup>あ</sup>つたらあ<sup>あ</sup>あい<sup>い</sup>うこと<sup>こと</sup>がで<sup>で</sup>きるよ<sup>よ</sup>なあ・・・と思<sup>お</sup>うのは正<sup>ただ</sup>しい見<sup>み</sup>方<sup>かた</sup>  
 ではないの<sup>の</sup>かもし<sup>し</sup>れない(笑)。

## C I Lとちぎクリスマス会

日<sup>にち</sup>時<sup>じ</sup> 平<sup>へい</sup>成<sup>せい</sup>24年<sup>ねん</sup>12月<sup>がつ</sup>16日<sup>にち</sup>(日<sup>にち</sup>) 11:30~15:00

場<sup>ばし</sup>所<sup>じょ</sup> 宇<sup>う</sup>都<sup>と</sup>宮<sup>みや</sup>市<sup>し</sup>総<sup>そう</sup>合<sup>ごう</sup>福<sup>ふく</sup>祉<sup>し</sup>セ<sup>せ</sup>ン<sup>ん</sup>ター 9A会<sup>かい</sup>議<sup>ぎ</sup>室<sup>しつ</sup>

会<sup>かい</sup>費<sup>ひ</sup> 700円<sup>えん</sup>

申<sup>もうしこ</sup>込<sup>み</sup>締<sup>め</sup>切<sup>きり</sup> 12月<sup>がつ</sup>12日<sup>にち</sup>(水<sup>すい</sup>)



## しょうがいしゃぎやくたいぼうしほう 障害者虐待防止法

10月1日から障害者虐待防止法が施行されます。この法律は障害者に対する虐待を禁止し、国や地方公共団体は障害者虐待の防止、養護者への支援を進める義務を負い、虐待を発見した国民には市町村や都道府県に通報することを求めるものです。この法律では虐待の類型を①身体的虐待、②性的虐待、③心理的虐待、④放置、⑤経済的虐待の5つとしています。これにあわせ栃木県障害者権利擁護センター、各市町には障害者虐待防止センターが設置されます。

過去には施設等での障害者虐待事件が報道されたりしてきましたが、これにより虐待がなくなり、障害者の人権について理解が深まることを望みます。

## うつのみやし じゅうどしんしんしょう しゃいりょうひじよせいせいど か 宇都宮市で重度心身障がい者医療費助成制度が変わりました

今までは病院の窓口で支払をした後に助成申請手続きをして自己負担分が返ってくる償還払い方式でしたが、10月1日から現物給付方式になり窓口での支払が不要になります。また、医療機関ごとの月500円の自己負担もなくなります。ただし、健康保険が適用されないもの、県外の医療機関を受診した場合は窓口での支払が必要となります。

宇都宮市内の医療機関でのみ現物給付ということで話が進んでいるのかと思っておりましたが、対象となる医療機関が栃木県全域に広がったのは嬉しいことです。県内全域でというのは宇都宮市が栃木県初のです。

これで市役所の窓口申請に行ったりする手間や、領収書の紛失、払い戻しをしてもらえる1年を経過してしまうといった心配が解消されそうです。

き かん しこうどくかい いんぼしゅうちゅう

### 機関誌購読会員募集中

じりつせいかつ きかんし ねん かいほうこう こうどく  
自立生活センターとちぎの機関誌（年3回発行）の購読をしてくれる  
かいいん ぼしゅう かいいん とうろく かた  
会員を募集しています。会員として登録してくれた方には、C I Lとち  
ぎのさまざまなイベントのご案内もいたします。 ねんかいひ えん  
年会費 300円